

スズメバチ対策

ハチトラップ（ハチ取り器）の作り方

ハチトラップとは

女王バチを捕まえて巣作りを事前に食い止めるためのもの

3月上旬頃から4月中旬頃にかけて越冬から目覚めた女王バチが、巣作りのために庭木や植栽などの樹木に飛来します。この時期にハチトラップを仕掛け、飛来する女王バチをおびき寄せて捕獲することにより、家の周辺に巣を作らせないようにする効果が期待出来ます。

※6月以降は女王バチは巣から出なくなり、働きバチが飛来しやすくなります。トラップを仕掛けて置くと、かえって働きバチをおびき寄せてしまいますので危険です。

ハチトラップ（ハチ取り器）の作り方Ⅰ

【用意するもの】

★:ペットボトル

（なるべく凹凸無く透明ツルツルで1.5ℓ～2ℓのものがおすすめ）

★:サインペンもしくはマジック等

★:カッター

★:誘引剤（匂いの強いもの）

- ・お酒または焼酎等250～300ml

- ・砂糖100g程

- ・酢80～100ml

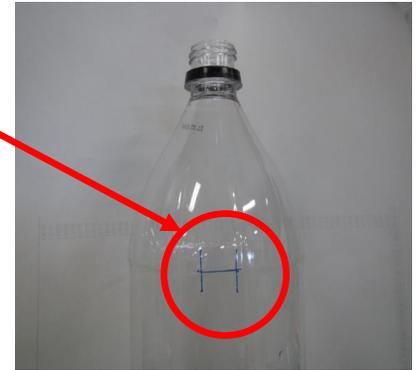
★:紐、針金等（トラップを吊るしたり、固定したりするためのもの）

ハチトラップ（ハチ取り器）の作り方Ⅱ

【手順Ⅰ】

★:ペットボトルに【H】型に印をつける
(縦、横共に15mm～20mm)

◆サインペン、マジック等で【H】型の
印を3～4ヶ所書きます



★:【H】型の印に沿ってカッターを入れる

◆手を切らないように注意してください



ハチトラップ（ハチ取り器）の作り方Ⅲ

【手順2】

★:切り込みの上を外側に曲げる
(雨の侵入軽減)



★:切り込みの下側を内側に曲げる
(ハチが逃げ難くする)



ハチトラップ（ハチ取り器）の作り方Ⅳ

【手順3】

★:誘引剤を作る

- お酒または焼酎等匂いの強いもの250ml～300ml
- 砂糖100g程度
- 酢80ml～100ml

良く混ぜた上でペットボトル下から6cm～7cm
まで注ぎます

★:紐を取り付けて完成



※分かり易いように
赤色に着色しています



設置、場所、交換について

- 設置する時間帯・・・スズメバチが休んでいる早朝もしくはは夜間
日中ハチは餌を探して活動しているので、寄って来て設置中に刺されてしまわないようにするためです
- 設置場所・・・人があまり通らない所、また**子供の手の届かない所**
(日陰)
子供が遊んでいる最中にひっくり返したり、また生きているハチに刺されたりしないようにするためです
- 交換の目安・・・設置から約2週間(誘引剤の水面が見えなくなった頃)
交換の際はハチが完全に死んでいることを確認して下さい(死んでいてもハチには触らない)

ご注意

- 6月以降ハチトラップの設置は行わない

女王バチではなく働きバチが来るようになりハチトラップの設置は危険です

- やみくもにハチトラップを仕掛けない、むやみにスズメバチを捕獲しない

スズメバチは私たちにとっては危険な生き物ですが、農作物を食い荒らす害虫を食べてくれる等益虫としての役割も担っている生物です

- 処分について

捕獲したハチ（死んでいてもハチには触らない）、使い終わった容器は分別してごみに出して下さい